

日 時 令和6年7月19日（金）14時～16時
場 所 牧之原市相良総合センターい〜ら 福祉団体活動室
出席者 別紙のとおり
内 容 令和6年度第1回牧之原市地域公共交通会議

1 開 会

2 挨拶（大石副市長）

- ・コロナも5類へ変わり人の移動もかなり激しくなってきた。海外からの流入も多くなっているが、その影響は牧之原市へは中々届いていないというのが現状。
- ・先月、静波サーフスタジアムでは大きな大会が2つほどあった。どちらも多くのお客様が来られたが、移動に困ったという声もいくつかいただいている。
- ・運転手不足を背景に路線バスの縮小や廃止が全国的な問題になっている。牧之原市でも相良から出発していた渋谷ライナーが藤枝発になってしまった他、島田静波線・藤枝相良線でも減便があった。
- ・タクシー事業者においても全国的な運転手不足を補うべく、一般の自家用車を使用しでのライドシェアが一部解禁されるなどの動きがある。
- ・牧之原市地域公共交通計画の2年目という事で、高校生を対象とした通学定期券購入費補助等実際に動き始めている事業もある。

3 報 告

- ・委員24名中22名（欠席：水野委員、加藤委員）の出席により会議成立。

（1）牧之原市の公共交通についての現状

① 牧之原市地域公共交通会議について … 資料1

【事務局 増田 説明】

② 牧之原市の公共交通について … 資料2

【事務局 笠井 説明】

③ 市営バス鬼女・菅山線の事故について … 資料3

【事務局 増田 説明】

（質疑応答）

【ジャストライン労働組合 都築委員】

鬼女菅山線の事故について、事故の1時間後に警察へ連絡とあるが、この1時間について運転手は何をしていたのか。また、ドライブレコーダーが録画されていなかったこと

の原因はわかっているか。以上2点について問う。

【事務局 原口】

子どもたちの怪我の状態の確認と会社への報告と聞いている。ドライブレコーダーについては、過去の物から自動的に消えていくもので、事故後エンジンをかけている間録画され続けたために消えてしまった。

【ジャストライン労働組合 都築委員】

その2つのみであるということだと1時間はちょっとかかりすぎていると感じる。改善策にも挙げていただいているが、まずは警察・救急車の要請をすべきである。ドライブレコーダーについても最新のものを導入するなど消えないように改善をした方が良いのでは。

【事務局 原口】

事故後の対応については会社へ強く申し入れを行った。ドライブレコーダーについてはSDカードの容量がより大きいものへと変更をした。

【松尾座長】

警察は1時間後ということであったが、救急はもう少し早かったという認識でよいか。

【事務局 原口】

今回救急車の要請はしていない。理由として目立った外傷がなかったことと、たまたまバスに乗っていた子供の親が通りかかり、厚意で子供たちを各自宅まで送ってくださったためそこに甘えてしまった。

【松尾座長】

今後しっかり対応するよう強く申し入れたという事で、今後様子を見て対応をお願いしたい。1つ懸念しているのは今回の事故によって、公共交通の利用を控えるような事態がないか。その点については保護者説明会等で今後の安全管理の説明をしたという事だが、納得いただいているという事か？

【事務局 増田】

説明会の中で保護者の方々から厳しいご意見もいただいたが、事業者も変わることなく引き続き委託をしている。その後運行についてクレーム等もいただいていないので安全運転で運行していると認識している。

【静岡運輸支局 増田委員】

事故が発生した際の連絡体制等は会社のみならず運転手へもしっかり周知するようにしていただきたい。また、運転手の方は地元の方だったのか。運転手への本運行に至るまでの教育体制等もしっかりとするようお願いしたい。

【事務局 原口】

今年度から運行業者が変わったということで、何度か実際のルートを実行するなどの研修は実施したと聞いている。運転手は地元の人であった。

【市民代表 増田委員】

ドライブレコーダーの管理体制について、再発防止策のところに適正管理と車内カメラの設置とあるが、車内カメラは設置済みか。また、スクールバスという位置づけに近いという認識しているが、乗客名簿というのは作ってあるのか。

【事務局 原口】

車内カメラは既に設置をした。乗客名簿は作っており、今回の件でいうと誰がどこに通院したかまで把握が出来ている。

【市民代表 増田委員】

幼稚園での事故の件で、緊急用のボタンかなにかは設置されているか。

【事務局 原口】

設置済みである。

【静岡運輸支局 増田委員】

資料1について、公共交通会議の概要を事務局から説明いただいた。今年度初めて委員になられた方についてはそれぞれの立場、それぞれの目線からの意見を言ってもらえればと思っている。

④ 交通事業者から現状についての報告 … 資料なし

【しずてつジャストライン(株) 藁科委員 説明】

・令和元年からコロナの影響で減った利用者もコロナ前と比較して8割から8割5分程度回復している。しかし、徐々に増加量も緩やかになりコロナ前まで戻すのは難しいと感じている。2024年問題については、藤枝相良線と島田静波線の減便を実施せざるを得なく利用者の方々にはご不便をおかけしているがご理解をお願いしたい。

【東海タクシー(株) 杉山委員代理 説明】

・デマンドについて、みんなが使いたい時間が集中してしまっていて大変である。現在は時間をずらしてもらったりすることでなんとか対応している。

【御前崎タクシー(株) 井口委員代理 説明】

・タクシーについてもバスと似た状況で戻りつつはあるが、増加量が緩やかになっており完全に戻るには至っていない。7～9時が、全国的に車両数が足りておらず、それでライドシェアという話が出ているという見解。行動様式が変わらないと厳しい状況なのではないか。

(質疑応答)

【静岡運輸支局 増田委員】

高齢化が進むにつれて、牧之原市でいうデマンドタクシーの需要は高まるものと思われる。御前崎タクシーが行動様式を変えるということを仰っていたが、施設側へ乗合の推進を協力してもらう等の事例があるので紹介する。また、藤枝市・吉田町でAI デマンドを導入したのでそういったものの活用も検討を。

【大石会長】

自治体がそういったAI システムを導入することでどういったところが変わるのか。

【静岡運輸支局 増田委員】

予約が重なった際に、乗合に最適なルートを導いてくれるシステムとなっている。

【大石会長】

吉田町・藤枝市では自治体が予約を受けているということか。

【静岡運輸支局 増田委員】

そういう訳ではなく、事業者が予約を受ける形となっていると聞いている。

【松尾座長】

自治体で予約を受けている例もあり、岐阜県養老町が自治体で予約を受けている。町役場で予約を受け付け、調整をしている。牧之原市のパターンであると時間が決まっているとのことであるが複数予約が入った場合どのような対応をしているか再確認したい。

【東海タクシー㈱ 杉本委員代理】

吉田町のデマンドは株式会社アイシンのシステムを導入し、使用しているがAI は利口過ぎて難しい。例えばA からB を2分で移動できると言ってくるが、老人が多い田舎であると乗車するだけで2分かかってしまう。牧之原市の場合は1日8便と決まっているが乗合が出来ないくらい予約が入った場合は追加の車両を配車している。

【松尾座長】

AI は実は賢くなく、融通を利かせたりあと10分遅らせてもらえたらといった交渉はコミュニケーションが取れる人間にしか出来ないこと。

また、ライドシェアについては日本版ライドシェアについてメディアで言われているが、

道路運送法 78 条の第 3 号というものになる。それは、安全管理等は事業者がやらなければいけないため、問題点が多くあるという認識。一方で道路運送法 78 条の第 2 号は 10 年ほど前からあるが、これは交通空白地域のための運用になる。しかし近年は運賃設定や、目的、交通空白地を空間的に定義しかできなかったものが時間的な空白にも対応できるようになってかなり柔軟になっているため、これを有効活用することが先決であると考えている。

【市民代表 増田委員】

運行回数等見ていると号によっては突出しているものもある。ここは苦労しているのではないか。また断るといった事態にはなっていないか。

【東海タクシー㈱ 杉本委員代理】

時間を少しずらしてもらったりして、なんとか対応している。デマンドは市内のみの運航であるため、少し待ってもらえば対応できることが多い。

【市民代表 増田委員】

榛原相良を縦断するような長距離の移動は多くなっているか。

【東海タクシー㈱ 杉本委員代理】

まきのはら号は長距離になることが多いが、他はそこまでではない。

【御前崎タクシー㈱ 井口委員】

じとうがた号も目立って増えているということはないが、距離が長くなりがちなのは事実としてある。

【事務局 増田】

じとうがた号の利用者で榛原病院の利用者がいるため、運賃としては高くなってしまう。

(2) 牧之原市地域公共交通計画について … 資料 4

【事務局 増田 説明】

(質疑応答)

【市民代表 赤堀委員】

学校再編など様々な事業が並行して進められていると思うので行政一体となって交通システムの形成をお願いしたい。

また、牧之原市は鉄道駅から距離があるため、今あるバス拠点の有効利用をぜひお願いしたい。

【事務局 増田】

全庁体制で実施していく必要があると必要性は感じている。実際に今日の会議の出席者には私たち企画政策部以外にも学校再編計画担当の教育文化部、他にも関連する部の部

長に入ってもらっているので、連携してやっていきたいと考えている。

【市民代表 増田委員】

根松バス停について、乗車人数がかなり多いため、屋根付きの待合所を検討いただきたい。事前に市に乗降者数がどのくらいなのか調べるよう頼んだがどうか。

【事務局 増田】

人数までは把握できていないが、常時 20 台ほど自転車が停められていることは認識しており、サイクルラックの設置を検討している。バス停の位置的に屋根などの設置が出来ないため、簡易的ではあるが放置自転車対策として。

【市民代表 増田委員】

朝見ると、かなりの人数が列を成してバスが来るのを待っている。屋根付き待合所については必要であると考えがどうか。

【しずてつジャストライン㈱ 藁科委員】

根松バス停の上屋整備の要望については以前からいただいているが、道幅の都合上、上屋というのは出来ないということになってしまったためご承知いただきたい。

【事務局 増田】

今は根松の話であったが、特急バスの停まる拠点バス停については整備を進めていきたいと考えている。相良営業所であればバスカットの整備を現在進めている。

【市民代表 増田委員】

ベンチ等はなくとも屋根だけはどうかかならないか。みんな傘をさして待っているため検討をお願いしたい。

また別件であるが、資料に静岡空港と市街地を結ぶバスの実証運行とあるが、空港から海水浴場やサーフスタジアム等に行く利用者がいるのか疑問である。

【事務局 増田】

市街地と結ぶというのは誘客として引き込みたいという思いから書いたものであるため、現状来る人がいるかどうかまでは把握していない。

(3) 令和6年度事業について

① 牧之原市路線バス通学定期券購入費補助金について … 資料5

【事務局 笠井 説明】

② 小学生バス無料デーの実施について … 資料6

【県地域交通課 廣津委員代理 説明】

③ バスの運賃改定について … 資料 7

【事務局 増田 説明】

(補足説明) 名目賃金と実質賃金から見る経済の動向について

【豊橋技術科学大学准教授 松尾座長 説明】

(質疑応答)

【松尾座長】

令和 5 年度の自主運行バス収支率は 12.3%と以前の半分以下になっている。今回の運賃改定によってどの程度改善されるものと見込んでいるか。

【事務局 増田】

試算が難しく悩んだが、OD 調査の実績等から試算した結果、700 万円程収入が増加し、収支率としては 3 %程改善を見込んでいる。

【松尾座長】

収入で 700 万円改善したということは利用者負担がその分増えているということで喜ばれることではない。増加分を利用者へ還元していくなど使い方も検討していただければ。

【市民代表 赤堀委員】

定期券補助金について、高校側に対してリーフレットの配布や説明等は実施したか。また、中学 3 年生がこれから進路を決定すると思うがそちらにも情報提供はしているか。

【事務局 増田】

市内にある榛原高校・相良高校には直接教員説明をさせていただき、チラシを対象の生徒全員に配布するよう渡した。中学 3 年生に対しては、小中学校の校長先生が集まる校長連絡会という場でチラシを配布し周知するよう依頼したところである。

【松尾座長】

県にお願いする形になると思うが、ハッピーライドについてはバス自体が無料となることと併せて、各自治体と協力して子供が行ってみようと思うような企画をやっていただきたい。例えば、富山県では孫とおじいちゃん・おばあちゃんが一緒に行くと公共施設が無料になるというイベントを実施している。子供が無料になることで大人と一緒に来て、お金が落ちるというのはバスだけでなく各施設にもメリットとなると思う。

【県地域交通課 廣津委員代理】

各市町が入っている実行委員会の場合でもちょうど依頼をさせていただいたところである。なんとかそういったことも実施していきたい。

4 その他

① 牧之原市職員のバス利用状況について … 当日資料

【事務局 増田 説明】

5 閉 会